



# ヒューライツ・シネマ

※ヒューライツとは、ヒューマンライツ（人権）の事です。



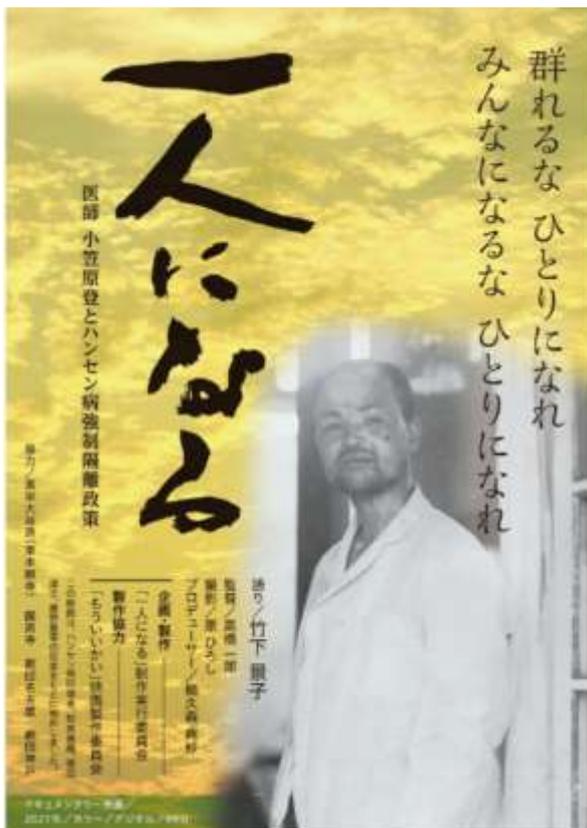
隣保館では、第4日曜日に人権映画を上映しています。

上映日時：1月22日(日) ①10:00～（本編99分）

上映場所:隣保館・集会室（2階）

『一人になる』

医師 小笠原登とハンセン病強制隔離政策』



この国では、ハンセン病をわずらった人たちが、人間としての尊厳を奪われ、家族たちも差別と偏見にさらされる、いのちを削らなければならない、という状況が続いてきました。国は1907年に「癩予防ニ関スル件」を制定。ハンセン病患者を「強制隔離」という政策をはじめました。そして政治家や法律家、宗教家やなんと医師までも、その過ちを見抜けず、無批判に「追従」してきたのです。それが1996年の「らい予防法」廃止まで、約90年も続いてきたのです。

この間、「人間回復」への闘いがこつこつと積み重ねられてきました。「ハンセン病は不治の病ではないし、遺伝でも、強烈な伝染病でもない、隔離は必要ない」と言い続けてきた一人の医師がいました。小笠原登は、一人の医師として、一人ひとりの患者に接し、患者を「隔離」から守ろうとしたのです。それは国という「厚く高い壁」の前には、小さな「抵抗」でしかなかったかもしれませんが、隔離の中で生きる人々に仄かな灯りをともしつけたのです。



参加無料



お問い合わせ：宇佐市隣保館  
宇佐市大字上田1043番地の1

電話・FAX 0978-33-1707

2022年度ヒューライツ・シネマ上映予定表

4月24日	インターネットと人権	ネットの人権	インターネット上の人権やプライバシーの侵害つながらる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きき社会問題となっています。	40分
5月22日	Voicel!! (ボイス) 人権の教室	人権全般	休日の学校で開かれる「人権の教室」招待状で招かれた3人の中学生・高校生が「声」を手掛かりに、3つの人権のテーマについて学んでいきます。	38分
6月26日	映像で学ぶジェンダー入門	男女共同	男らしさ、女らしさといった考え方は人の無意識に存在します。そうした考え方はしばしばステレオタイプ化し、多くの弊害をもたらします。様々な事例から身近なところに潜む性別役割規範について考えます。	40分
7月24日	大地の母 きくゑ	同和問題	被差別部落に生まれたきくゑは、差別と闘いながら大正・昭和・平成と生き抜いてきた。うどん作りをとおして今でも地域社会に貢献するきくゑの活動を描いた心温まるドキュメンタリードラマ。	32分
8月28日	あなたがあなたらしく生きるために	LGBT	性・セクシュアリティはとて多様です。しかし、それをしっかり理解している人はごく僅かでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが生きづらさを感じています。	30分
9月25日	サラマーマット あなたの言葉で～	多文化共生	異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	36分
10月23日	同じ空の下～パート1～	人権全般	大分県人権啓発冊子当事者インタビュー集「同じ空の下」の中から、LGBT・身体障がい者・ハンセン病回復者のテーマについてインタビューしたものをDVDにした作品です。	55分
11月27日	ずっと助けてと叫んでた	子どもの人権 女性の虐待	虐待サバイバーほしおか十色さんの半生を辿りながら専門家がその行動と紐解いていきます。被害当事者の苦しみを知り、支援の在り方を探るドキュメンタリーです。	63分
12月25日	カンパニユラの夢	高齢者の人権	8050問題は誰にでも起こりうることで認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	36分
1月22日	一人になる医師小笠原登とハンセン病強制隔離政策	ハンセン病	「ハンセン病は不治の病ではないし、遺伝でも、強烈的な伝染病でもない、隔離は必要ない」と言い続けてきた一人の医師小笠原登。信じる道を進んだ背景や、人との出会いを描いたのがこの作品です。	99分
2月26日	同じ空の下～パート2～	人権全般	大分県人権啓発冊子当事者インタビュー集「同じ空の下」の中から、部落差別問題・発達障がい・性犯罪被害者のテーマについてインタビューしたものをDVDにした作品です。	55分
3月26日	同じ空の下～パート3～	人権全般	大分県人権啓発冊子当事者インタビュー集「同じ空の下」の中から、部落差別問題・LGBT・外国人の問題のテーマについてインタビューしたものをDVDにした作品です。	55分